

世界初！炭酸飲料を詰めても丸くならない 角型PETボトル



これまでの常識に挑戦する新たな容器



炭酸飲料のPETボトルは、炭酸ガスで容器が破裂するのを防ぐために丸型形状のボトルが使われてきました。東洋製罐は、これまでの既成概念を覆し耐圧ボトルで角型形状というイノベーションを達成しました。

このボトルは、ボトル断面の形状が変形方向の異なる形状を積み重ねたデザインにしたことで、ボトル内圧の膨らみを抑制した角型のデザインを実現しました。底部は今までの製品イメージを損なわない新設計の形状を採用しています。

丸型から角型になったことで、デザインの幅が広がるだけでなく、ダンボールケースに無駄なく収容することができます。輸送時のトラック積載効率がアップし、CO₂削減も期待できます。

これまでの技術を守りながらも、新しく環境にも配慮した、これまでにない新しい容器開発に挑戦しています。



これまでの耐圧ボトル
ボトル胴部の形状：丸型
底部形状：5本足

新形状により、炭酸ボトルに新たなデザインの可能性を提案

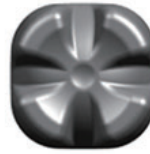
ボトル側面の形状がボトル内圧によるボトルの膨らみを抑制し、四角い形状を維持できます。



変形方向が異なる断面を積み重ねることでボトル膨らみを抑制します。

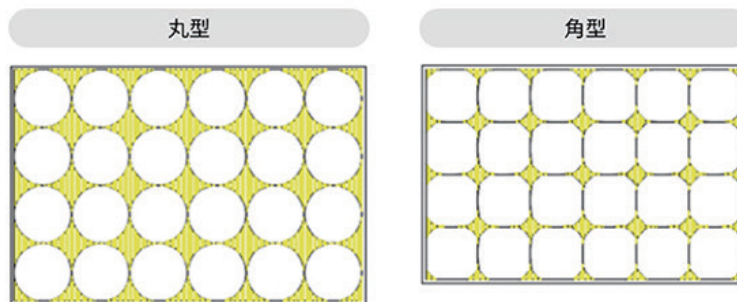


今までの製品イメージを損なわない新設計の4本足。



ダンボールに隙間なく詰められるから、トラック輸送時の積載効率アップ

角型化によりトラック輸送時のダンボールのデッドスペースを大幅に削減できます。また、ボトルを詰めるダンボールのサイズも縮小できるので、積載効率アップが見込めます。



ダンボールに詰めた時のイメージ